

修 士 論 文 の 和 文 要 旨

研究科・専攻	大学院 電気通信学研究科 人間コミュニケーション学専攻 博士前期課程		
氏 名	齊藤 直樹	学籍番号	0936014
論 文 題 目	映像研究のための時間軸データを用いた集合知形成の研究		
<p>要 旨</p> <p>2005 年後半から FTTH 回線の契約数が非常に伸び始めた。大容量通信が可能な FTTH 回線の普及により大容量の動画を配信、視聴する環境が整った。また、「GyaO」や「Youtube」といった近年非常に人気のある無料動画配信サービスもこの頃スタートした。これにより、動画の高度な利用の条件が整った。</p> <p>Web の高度な利用については、2005 年頃から Web2.0 という言葉で語られるようになった。Web2.0 ではユーザーはコンテンツを与えられるだけでなく、ユーザーがコンテンツの制作に参加することができるため、多くのユーザーによる集合的な知識の形成をはかるとされる。動画について Web 上で持たれる知識も、ユーザーのコメントや議論から成熟する集合知になっていくのではないかと期待される。しかし、動画で重要なのは動画が時間軸を持っていることだ。動画について集合知が形成されたとしても、それが時間軸と結びついていなければ有効性が下がる。</p> <p>そこで、本研究では映像分野の学術的知識を集合知として形成するシステムを構築する。映像はメディアの特性としてタイムラインを持っているので、有効性を上げるため学術的知識もタイムラインに結びつける。集合知形成においては多くのユーザーの「粗い」知識から、ユーザー同士の情報交流を通して「洗練された」知識が形成されるというプロセスをとる。</p> <p>プロジェクト全体としては以下の 3 つのシステムを作成する。</p> <p>(1) アノテーションシステム (2) 動画 wiki (3) キーワード抽出システム</p> <p>本研究ではこのうち(1)と(3)を提案し、合わせて(2)を後で組み合わせてプロジェクト全体を動作させる。</p> <p>今回の実験でアノテーションシステム、動画 wiki、キーワード抽出システムが正常に動作し、システムが繋がったことが確認できた。</p>			